

予算決算福祉文教小委員会審査報告

令和6年3月19日

予算決算常任委員長 石川 信雄 様

福祉文教小委員長 瀧野 良枝

本小委員会に付託された事件にかかる審査内容及び主な質疑、意見等について、次のとおり報告します。

記

事件の番号	付 記 内 容
議案第23号	令和6年度飯綱町一般会計予算中、 民生費、衛生費、労働費（シルバー人材センター運営事業） 教育費及び関係歳入

第3款 民生費

□保健福祉課

質疑①：介護予防に参加する住民が増えているように思うが、今後の見通しと評価は。

回答①：住民主体で行っている「通いの場」にひとり暮らしのフレイル状態の方を繋げていけるよう、フレイルチェックをする新しい事業を行う。

質疑②：地域おこし協力隊が社協に配置されるのは初めてだと思うが、本人も希望して社会福祉の業務を行っているのか。

回答②：募集要項に「地域福祉に携わり、社協の地域福祉課で福祉に関する業務を行う」と記載したうえで募集をかけている。

□住民環境課

質 疑：なし

□教育委員会

質 疑：子育てセンター事業費の長野県立大学連携事業の 300 千円の内容は。

回 答：親子わくわく講座を年 5～6 回行っており、教授、助教授、講師等に講座の企画、内容、資料作りをお願いしている。また、学生による地域貢献という意味を含め月 2～3 回子どもとの交流事業を行っている。保育園との連携として、保育士向け講座・保育士研修の助言をいただいている。

第 4 款 衛生費

□保健福祉課

質疑①：HPV ワクチンキャッチアップの接種状況は。

回答①：対象者が 314 名で接種済者が 52 名、接種率は 16.6%。

質疑②：ゲートキーパー養成講座が 2 回計画されているが、対象者は。

回答②：1 回目は医師やケアマネジャー等の専門職、2 回目は区長会や商工会を対象に行う予定。

意 見：自死した方の家族が受けられる講座を開催してほしい。残された家族が心を病んでしまう状況が見受けられる。

□住民環境課

質疑①：狂犬病予防注射は、全国的に接種率が年々下がってきているという報道があったが、町の状況はどうか。

回答①：令和 4 年度の実績で犬の登録頭数が 554 頭、実際の狂犬病予防注射の実施頭数が 510 頭で、44 頭が未接種となる（接種率：92%）。病気等で獣医師の指示で接種できない場合もある。未接種の飼い主には、葉書や電話等で接種の勧奨を行っており、接種率は高いと認識している。

質疑②：猫の繁殖については、町内でも近隣に迷惑が掛かるなどの苦情が聞かれる。地域の方々がお金を出し合って保護する取組もあると聞くが、町ではどのように考えているか。

回答②：他地域では N P O や地元の自治会が協力し合い行っている市町村もあると聞いている。長野管内としては目立った動きはない。近隣市町村や保健所でもこの問題が課題となっている。今後どういう流れになるか不透明だが、町では、まだそこまで具体的な施策は考えてない。今後、保健所等と連携しながら検討していきたい。

質疑③：住宅用太陽光蓄電池補助金と住宅用太陽光発電設置補助金を併用して申請できるか。

回答③：併用して申請できる。脱炭素事業は、地球温暖化対策を進めていくというところが一番の趣旨であると考えており、併用の制限を設けず、両方申請しても対象要件に当てはまれば交付できる。また、県補助制度との併用も可能である。

第5款 労働費（シルバー人材センター運営事業）

□保健福祉課

質 疑：シルバー人材センターの登録者数と活動者数は。

回 答：令和5年3月時点で、登録者数48名、活動者数40名。

第10款 教育費

□教育委員会

質疑①：現在の条例では、有料の催し物等を行う場合、町内の社会教育施設は借りることができない。町内の社会教育施設で、民間が借りられる場所がないため、条例の内容を改正していく必要があるのではないか。

回答①：以前、物品の販売等の商取引など、有料の催し物等は飯綱福祉センターを利用することができたが、今は利用できる施設がない。町全体として、検討していく必要がある。

質疑②：文化財保護費について、多くの発掘品の保管場所（スペース）の確保をどのように考えているか。

回答②：具体的にはまだ決まってないが、農業集落排水処理場の後利用ができないか検討中である。利用できればかなりのスペースになる。

質疑③：町民会館の改修について、通年にわたり順次行くと聞いているが全体像が分からないため、年次計画があれば示してほしい。

回答③：議会全員協議会でお示しする予定である。

質疑④：文化財保護費について、大字倉井（大原）にある旧三水村教育委員会で設置した学校跡の標柱が古くなっており、町民から新しくしてほしいとの要望があるが、古い物から新しい物への予算措置はされるのか。

回答④：看板等の改修費は予算計上しているが、現物を確認して対応する。

質疑⑤：図書室の風呂場への移転工事について、風呂場はアスベスト含有と思われるが、工事中は町民会館利用者等に影響が出ないように対応してほしい。また、蔵書について、移転先では全て収まるスペースになっているのか。

回答⑤：アスベストの飛散防止を行い、施行していく。蔵書については、議会全員協議会時にイラスト等で示しながら説明する予定であるが、十分スペースは確保していく予定となっている。

質疑⑥：事務局一般管理費のスクールバスについて、令和5年度予算1,370千円が令和6年度予算2,098千円と増額しているが、形態が変わったのか。また、三水小スクールバスの通学範囲の変更はどこか。

回答⑥：スクールバスの運転について、令和5年度は町の会計年度任用職員で、令和6年度は民間業者へ委託の予定である。予算額の増は、スクールバスの適用範囲の拡大による、バスの運行台数の増加によるもの。三水小のエリア拡大

は、牟礼小スクールバスの最短通学距離（直線距離で2km）を基準とする予定。芋川地区は中村・御所之入・堀越、倉井地区は大原・風坂・東原・一ツ家が範囲拡大の地域となる。

質疑⑦：児童介助員について、教員免許を持っているのか。また、特定の子どもに接する職業のため、面接などで人間性等について問題ない方を採用しているか。

回答⑦：介助員は、子どもを介助する方であり、教員免許の有無は求めている。学校を中心として、校長、教頭等が面談を行い、採用している。

質疑⑧：教育振興費の小中教材費補助について、令和3・4年度の行政報告では利用額に差があるため、補助額の増減を検討することになっていたが、令和6年度予算は検討されたのか。

回答⑧：令和5年度の予算要求の段階で増額を求めたが、当面現状のままでいくことになった。

質疑⑨：通学補助について、小学校から高校までの保護者の負担割合は。

回答⑨：鉄道利用については全て2割補助の予定。

歳入

質疑：なし

以上